

広島県立因島高等学校 創立90周年特集号

2011年2月28日発行
 発行者 広島県立因島高等学校同窓会
 会長 小江 章
 事務局 尾道市因島重井町5574
 (因島高等学校内)
 電話(0845)24-1281
 FAX(0845)24-3585

<http://0845.boo.jp/doso/>



ごあいさつ

因島高校同窓会会長 小江 章

平素から因島高等学校に、多大なる、ご指導・ご鞭撻を賜り有難うございます。

会場の都合もあり、多くの同窓生の皆様、因島高等学校の関係の皆様、地域の皆様に参列していただくことができませんでした。

さて、因島高等学校同窓会会報誌につきまして、多くの同窓生の皆様にご購読いただき、ありがとうございます。昨年、因島高等学校が創立90周年を迎え、記念式典・祝賀会が挙行されましたが、

そのような事情もありまして、今回の会報誌は、因島高等学校90周年記念誌併合版として、90周年記念式典等の内容を中心に発行させていただきますので、よろしく願いいたします。

因島高校同窓会のホームページを開設しています。 <http://0845.boo.jp/doso/>

同窓会会員数(2010年4月現在) 旧高女卒 2,043名 旧因島高校卒 15,206名 旧因島北高校卒 7,852名 因島高校卒 1,872名 計26,973名
定時制・分校卒業者含む

広島県立因島高等学校 創立90周年式典式辞



広島県立因島高等学校
校長 古川 正徳

霜月の紅葉が橘のオレンジ色と見事に溶けあい、晩秋の日差しを浴びて光る美しい海。風光明媚にして歴史ロマン漂う因島。

今日の佳き日に広島県議会議員松浦幸男様をはじめ多数のご来賓の皆様方のご臨席を賜り、また広島県教育委員会から下崎邦明教育次長様をお迎えし、広島県立因島高等学校創立90周年記念式典を盛大に挙行できますことは、この上もない喜びであり、衷心より御礼申し上げます。

本校は大正9年に土生町女子実業補習学校として発足し、平成22年の今年を以て創立90周年の記念すべき年を迎えたわけであります。この間、「広島県立土生高等女学校」「広島県因島高等学校」そして昭和43年の「広島県立因島高等学校」等など、幾多の校名の変更や変遷を辿りながら、また平成11年の、昭和23年創設された因北分校を起源とする因島北高校との統合による新生因島高校としての再出発や、定時制課程創立60周年を内包しつつ、90年の長きにわたって着実に、しかも確固たる教育実践と歴史とを刻んで参りました。

同窓生は、実に27,000有余名を数え、それぞれ有為な人材として地元尾道市はもとより、全国各地で活躍されていることは、枚挙にいとまがありません。

一口に90年とは申せ、その間様々な紆余曲折があったであろう事は想像に難くありません。山あり谷有りの歴史の中で、ことある毎にいただいた、県教育委員会をはじめ、同窓会・P.T.A・地域の皆様方の物心両面にわたる温かいご支援に思いを馳せるにつけ、感謝の気持ちで一杯になるとともに、本校の将来に対する責任の重さで、体の「震え」さえ覚えます。歴史の重みとは正にそうしたものであります。

さて、昨今の我が国の教育はグローバル化、少子高齢

化の流れの中で大きな転換期を迎えています。県の総合計画「元気挑戦プラン」やこの10月に策定された「ひろしま未来チャレンジビジョン」を見ても、「人づくり」が重要な柱となっており学校教育が果たすべき責任と役割りは非常に大きなものとなっています。

本校は、地域密着型の高校として隣接する瀬戸田高校との小規模校連携事業も積極的に推進しながら、「確かな学力」「豊かな心」を育む教育活動を展開し、密なる地域連携と併せて、生徒一人一人に新しい時代を生き抜く力を育成し、21世紀の地域を担うキラリ輝く若者づくりに取り組んでいるところであります。

換言すれば、教育に於ける芭蕉の言う「不易」たるべき部分は堅持しつつ、「流行」もその中身の吟味を経た上、積極的に取り入れるということであります。勿論、この二領域は弁証法的に、より高次の段階で止揚されなければなりませんし、そのことこそが、「特色ある学校づくり」や地域に信頼される学校づくりにつながり、来るべき100周年へ向けての、また「全国トップテン」をめざすとの本県教育の目標を達成する確かな道筋であると確信しております。

ところで在校生の皆さん。90周年記念式典に臨んで一言申し述べたいことがあります。それは伝統校の生徒としての誇りと自覚を持つとともに、高い目標設定のもと、二度と帰らないこの一瞬一瞬を大切にしてもらいたいと言うことです。

江戸中期の漢学者に頼山陽という人がおりましたが、彼が13才の時に創った漢詩に

「十有三の春秋、逝くものは已に水のごとし。天地は始終なく、人生は生死あり。

いづくんぞ古人に類し、千載に青史に列するを得んや」というのがあります。「自分はもはや13才になってしまった。過ぎ去った年月は川の水のように二度と戻ることはない。この天地は始めも終わりもなく永遠だが、人間には生と死とがある。それを考えると古の偉人のように、千年の歴史に刻まれることをこの世に残していきたいものだ」という意味です。夢や理想を高く掲げ、実現へ向けての日々の努力を継続しようではありませんか。私たち教職員は今後とも皆さん一人ひとりの自己実現をめざす営みを温かく見守り、全力でサポートしていきます。

終わりに臨みまして、因島高校は校訓「自重互敬」の旗印のもと、良き伝統を引き継ぎながら、新しい時代に



内海造船株式会社

取締役社長 森 弘行

本社：瀬戸田工場／〒722-2493 広島県尾道市瀬戸田町沢226-6

TEL(0845)27-2111 FAX(0845)27-2895

<http://www.naikaizosen.co.jp>

因島工場／TEL(0845)22-9311

田熊工場／TEL(0845)22-1411

東京支社／TEL(03)3761-6926

大阪支社／TEL(06)6441-2071

即応した、地域の高校として更なる充実、発展を教職員・生徒一丸となって進めて参ります。どうか本校に対しまして倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、式辞といたします。

広島県立因島高等学校 創立90周年式典祝辞



広島教育委員会

教育長 榎田好一様

(代読 教育次長 下崎 邦明様)

本日ここに、因島高等学校創立90周年記念式典が、広島県議会議員松浦幸男様、高山博州様、吉井清介様、金口巖様をはじめ、多数の御来賓の皆様のご御臨席を賜り、盛大に挙げてまいりましたことは、誠に慶賀に耐えません。

因島高等学校の歴史をたどりますと、大正9年に設置された、土生町女子実業補習学校に遡ります。以来、県への移管や校名変更など、幾多の変遷を経て参りましたが、平成11年には、当時の因島高等学校と因島北高等学校が統合し、全日制総合学科及び定時制普通科から成る広島県立因島高等学校として、新たなスタートをきっております。

因島高等学校では、創立以来、一貫して、地域社会や産業界に貢献できる人材の育成を目指し、本県教育の振興と地域文化の継承・発展に重要な役割を担って参りました。

これまでに、約27,000名の優秀な人材を輩出し、その卒業生は、県内のみならず、全国各地において、様々な分野で活躍されております。

御案内のとおり、本県では、「新たな『教育県ひろしま』の創造」に向けて、バランスのとれた「知・徳・体」の基礎・基本の徹底や信頼される学校づくりなど、教育のさらなる中身づくりに取り組んでいるところです。

その中において、因島高等学校におきましては、校訓「自重互敬」のもと、自主的・自律的に行動する人間、進取の精神に満ちた人間、自他を尊重する人間の育成を

教育目標として掲げ、地域に根ざした、特色ある教育活動を展開しております。

例えば、全日制課程におきましては、総合学科として、生徒の多様な興味・関心等に応じるために、人文社会、自然科学、生活科学、工業テクノロジーの4系列の教育課程を編成するとともに、少人数授業や補習の実施、面接指導や資格取得の指導など、きめ細やかな指導を行い、生徒一人一人の希望する進路の実現に取り組んでおります。

こうした取組みの成果は、昨年度の100%の就職率や、大阪大学をはじめとする国公立大学への2桁の進学者数にも現れております。

また、今年度から、県内のトップをきって、小規模県立高校間の連携推進事業に取り組んでおり、瀬戸田高等学校と授業交流や学校行事等での連携を積極的に実施し、さらなる教育活動の充実に取り組んでいるところです。

定時制課程におきましては、習熟度別事業の実施などにより、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、生徒一人一人に、「わかった」「できた」という達成感を実現させ、生徒の学習意欲の高揚を図っております。

また、開かれた学校づくりの推進にも力を入れ、芸術や情報、体育などの教材で取り入れている聴講生制度の実施は、学校の大きな特色の一つとなっており、生徒たちは、地域の方々と共に学ぶことで、様々な刺激を受け、大きく成長しております。

さらに、部活動を通じた豊かな人間性の育成に取り組んでおり、本年度は、運動部において、体操部や定時制の陸上部が全国大会に出場したのをはじめ、文化部においても、美術部の生徒4名が尾道市美術展において入賞するなど、多くの部が熱心に活動を行っております。

また、地域に根ざした学校として、地域の清掃活動を行ったり、因島水軍まつりに参加するなど、地域との繋がりが、地域の伝統と文化を重視した教育活動を行っており、こうした活動は、生徒が、地域の良さを再発見することや、地域愛を育むことに繋がっているものと考えております。

因島高等学校が90年の長きにわたり、優れた教育を積み重ねて来ることができたのは、歴代の校長をはじめ教職員の皆様の尽力はもとより、生徒の皆さんの努力、また、PTA、同窓会、地域の皆様方の御支援・御協力の賜物であり、深く感謝と敬意を表するものであります。



未来へ飛躍する!

 **ユニバーサル造船株式会社**

日立造船とNKKの船舶・海洋部門が統合して8年、ユニバーサル造船は、わが国造船界のリーディングカンパニーです!

因島事業所 事業所長 西潟外志勝

〒722-2393 広島県尾道市因島土生町2477番地16
TEL:0845-22-1220 FAX:0845-22-0383



校長をはじめ教職員の皆様には、これまでの教育実践の成果を踏まえつつ、さらに創意工夫を重ねることにより、地元市民はもとより、県民の期待に応える学校づくりに、一層邁進していただきたいと思ひます。

また、生徒の皆さんには、この90周年という節目を新たなスタートとして、先輩方が今日まで築き上げてこられた、因島高等学校の良き校風を受け継ぎ、一人一人が自らの可能性にチャレンジし、次代を担う創造性豊かな人間へと成長されるよう、期待しております。

終わりにになりましたが、PTA、同窓会並びに地域の皆様方の本校への変わらぬ御支援、御協力をお願い申し上げます。



広島県公立高等学校校長会

会長 大下 隆 司 様
(代読 副会長 岡田 司様)

島のみかんが黄色く色づき、冬の訪れを感じる本日、この佳き日広島県立因島高等学校創立90周年記念式典がこのように盛大に開催

されます事を心よりお祝い申し上げます。

因島高等学校は大正9年、御調郡土生町、女子実業補習学校として創立され、昭和41年、長浜校舎が広島県立因島北高等学校として分離独立しましたが、平成11年に両校が統合し、新たに広島県立因島高等学校が誕生いたしました。その間、島の教育充実の使命を担い、清心堅実な教育方針は脈々と受け継がれ、地域社会はもとより、我が国の政治、経済、文化のさまざまな分野に数多くの人材を輩出してこられました。

現在、活躍されている、女優の東ちづるさん、歌手のポルノグラフィティ、文学界で注目を浴びる、湊かなえさん等、すぐにも顔が浮かんでくる方々が多くおられます。

この様なすばらしい先輩がおられる因島高校で学ぶ、生徒の皆さん、皆さんは、幸田文という人を知っていますか。明治の文豪、幸田露伴の次女であり有名な随筆家です。その彼女の随筆に「木」という作品があり、その中に「倒木更新」という言葉がでています。倒れる木に更に新しいという字を書きます。その内容は、北海道の厳しい自然の中で、エゾ松がどのように発芽し、生育す

るかについて書かれています。エゾ松は沢山の種子をばらまきますが、倒木、つまり、倒れた木の上に着床したものだけがかるうじて発芽し、生育していくのだそうです。雪深い広大な自然林の中に、一直線に数本のエゾ松が、整然と直立している所があれば、それを倒木更新というのだそうです。倒れた親から養分を吸収して成長し、やがて一本の大木になるのです。

皆さんに考えてほしいのですが、この倒木は命が絶えているのでしょうか。決してそうではありません。私はしっかりと生きています。生きて若木に栄養分を送り続けているのはもちろん、一見、無に帰したように見える雪深い中の倒木は、形を変えて若木の中に生きています。

皆さんは、この因島高校に限りない愛情を寄せ、因島高校の行く末に、限りない期待を寄せておられる人々が用意した養分を吸収して、可能性の芽を育てていけることに、感謝と誇りの気持ちを持って欲しいと思ひます。やがて皆さんの順番がきて、今度は皆さんが、後輩の種子を着床させる倒木となって、新しい命を育むことになるのです。そのようにして繋がりながら、この地域が持っている文化や歴史のよさに目を向け、それを大事にしようという心を受け継いでいって欲しいと思ひます。そのことが因島高校をこの地域に根ざした確かな母校にして行くことだと思います。

終わりにになりましたが、歴史とロマンの町、そして花とフルーツの町でもある因島。その島の文化活動の拠点である因島高校の、今後、益々の発展を祈念して祝辞と致します。

因島高等学校同窓会

会長 小江 章
(S40年卒)



広島県立因島高等学校創立90周年記念事業実行委員会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

本日は大変ご多忙の中、松浦広島県議会議員様、吉井広島県議会議員様、金口広島県議会議員様、広島県教育委員会下崎教育次長様を始め、多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り広島県立因島高等学校90周年記念式典が挙行できますことを心より御礼申し上げます。

幅広い製品と信頼の技術で支える総合機械メーカー

IMEX

株式会社 アイメックス

取締役社長 新開 猛 富

本 社 広島県尾道市因島土生町2293番地の1
〒722-2393 TEL(0845)22-6411 FAX(0845)22-6455
大阪支社 TEL(06)6370-6850 FAX(06)6815-7101
東京事務所 TEL(03)5408-7915 FAX(03)5408-7916

因島高等学校は大正9年土生町女子実業補習学校として創立され、女学校時代が30年、その後、男女共学となり60年、因島地域の社会経済と連携し、因島地域の発展の一端を担ってまいりました。

昭和40年には規模が拡大し、2つの高校へと分離し、そして、10年前に因島高等学校と因島北高等学校が統合され、現在の因島高等学校となりました。

今年、因島高等学校創立90周年と併せ総合10周年を迎えられますことを90周年記念事業実行委員会として、また、因島高等学校同窓会として、心より喜び申し上げます。

現在の因島高等学校は広島県をはじめ関係の皆様の大なるご尽力により、広島県内で非常に優れた施設と設備を有する学校としていただきました。

また、先生方の熱心な教育と指導により、高等学校としての資質も向上させていただき、因島高等学校を周りでサポートさせていただいている一員として、この場をお借りして衷心より御礼申し上げます。

さて、記念事業実行委員会は90周年記念事業を実施するにあたり、今の因島高等学校に欠けているものはなにかといたしました。

因島高等学校は過去において非常に荒れていた時がありましたが、地域の皆さんにはその時のイメージが払拭されておらず、現在の学校の実態をご理解いただけないという現状が大きな問題であると判断し、因島高等学校の先生方とも相談して、因島高等学校の情報を地域に発信する大規模な掲示板の設置をさせていただくことといたしました。

併せて、本日の記念式典の内容を加味した90周年記念誌を本日ご臨席の皆様をはじめ、因島地域の皆様に配布することといたしました。

実行委員会としては本日の記念式典、祝賀会、記念誌の発行配布等で任務を終了いたしますが、今後は同窓会として、先生、保護者、地域の皆様方と一層連携を図り、因島高等学校と地域の発展に努めてまいりたいと考えております。

終わりに、因島高等学校の益々の飛躍をご祈念申し上げます挨拶とさせていただきます。

本日は真におめでとうございます。



因島高等学校生徒代表

全日制生徒会長 公文雅彦

因島の柑橘がその種類を変えていく中、気温の変化や季節の移ろいを感じ取ると、深まる秋と近づく冬を意識する今日このごろです。

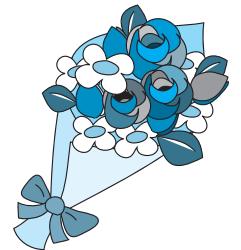
本日は、因島高校創立90周年を祝う記念式典にあたり、ひとことお祝いを述べさせていただきます。

現在の因島高校は、大正9年開校の土生町女子実業補習学校からの伝統を引き継ぐ旧・因島高校と、その旧・因島高校因北分校から独立した因島北高校の2校が平成11年に統合されてきたものです。県下トップクラスの立派な校舎を始めとするすばらしい学習環境に恵まれ、今私たちは勉強にもクラブ活動にも積極的に励み、人生の中でかけがえのない時間をここで過ごしています。友人や先生方とのふれあい、その中で自分を見つめ、自分を高め、自分の進路をつかむ努力をしています。特に、文化祭や体育大会では、クラスや学年が一つになって、一生懸命練習に励む姿は、本当に素晴らしいものだと思います。学校行事を生徒自ら盛り上げ、熱くなることができるのは、因島高校の伝統の一つです。

私たちが今このようなすばらしい環境に身をおけるのは、これまでの両校の先輩方の積み上げてこられた成果のおかげです。その成果を「伝統」ということばで私たちは受け継いでいます。しかし、私たちに求められていることは、その伝統をただ受け継ぐだけではないと思います。諸先輩方の伝統に私たちの力を加えたあたらしい伝統を築き上げて、それを次の世代に伝えていくことではないでしょうか。

もちろん、今の私たちはまだまだ力不足・経験不足であり、諸先輩方の足下にも及びません。それでも、私たちは精進を重ね、21世紀の因島高校の礎を築いていく努力を継続することをここに約束します。

因島高校創立90周年記念式典に臨んで、決意を約束ということばで結び、お祝いとさせていただきます。



JTB特定パートナー店・近畿日本ツーリスト提携店
(有)TMツーリストサービス
 代表取締役 松浦 真博(S53年卒)
 広島県尾道市因島土生町1899-31
 TEL 0845-22-8888 FAX 22-7982

自動車販売・車検・損害保険
アイ・ビー車検株式会社
 代表取締役 村井 弘明(S40年卒)
 尾道市因島重井町5798-1 TEL0845-24-3223

株式会社 アコービレ
 代表取締役 小江 敦子(H6年卒)
 尾道市因島田熊町1025-3
 TEL 0845-22-6417

カラオケスナック
ラウンジ 吾妻
 東 優子(S36年卒)
 尾道市因島土生町 TEL0845-22-8887

株式会社 いまじ
 今治 孝之(S32年卒)
 尾道市因島土生町2205

鮮魚・卸・小売
一色商店
 一色 伸良(S55年卒)
 尾道市因島土生町1897-6 TEL0845-22-0115
 (中央マート) TEL0845-22-2231



生徒入場



ご来賓入場



式典でご挨拶される古川校長



記念事業「掲示板」の贈呈式



式典にて生徒による演奏



記念講演「自然災害から生命を守る三つの“助”」中山隆弘広島工大教授

乗合バス・観光貸切・旅行業

因の島運輸株式会社

取締役社長 村井 敏宏(S38年卒)

尾道市因島土生町2201 TEL0845-22-2171

医療福祉もお手伝い

因の島ガス株式会社

代表取締役 村上 祐司(S39年卒)

尾道市因島田熊町5037 TEL0845-22-2222

ふるさと因島再発見!

社団法人 因島観光協会

会長 村上 祐司(S39年卒)

尾道市因島土生町1899-31 TEL0845-26-6111

因島機械株式会社

代表取締役社長 村上 徳明(S40年卒)

広島県尾道市因島重井町4444
TEL 0845-24-2345 FAX 24-2346

因島汽船株式会社

代表取締役 村井 弘明(S40年卒)

 尾道市因島土生町1460-4
高年齢者総合福祉施設 TEL 0845-22-2525

因島金属株式会社

専務取締役 兼本 勝一(S53年卒)

広島県尾道市因島重井町84-1
TEL 0845-25-1182 FAX 25-1183

因島高等学校創立90周年記念事業

同窓会の記念事業は、
高校の現状を『発信』するための事業を。

90周年記念行事については、関係の皆様や諸先輩方のご尽力により、10年前の旧因島高校、旧因島北高校統合時にほとんどの施設が整備されており、取り組みとしては、現在の因島高校の実情を地域の皆様に十分見て、知っていただくことを行いたいと考えました。

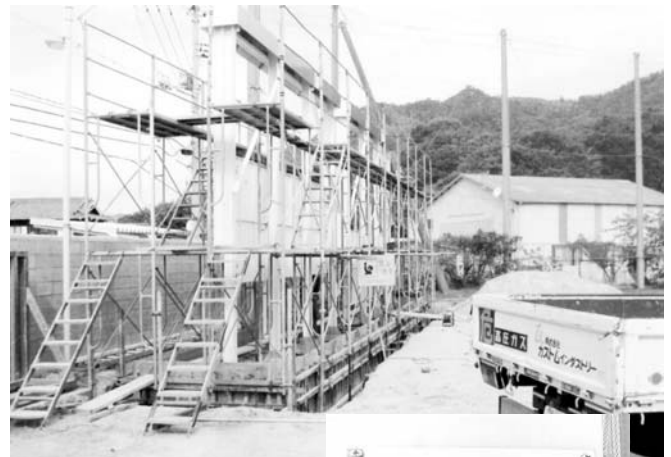
因島高校の全日制は、1学年3クラスです。

広島県の方針では、1学年3クラス以下の高校については、統廃合検討校になっています。

ここ数年、広島県の高校で廃校の方針が決まった学校は、平均2校/年で、生徒数の減少と地域からの進学率の低下が大きな要因のようです。

因島高校については、生徒の資質も随分向上してきましたが、その状況が地域の皆さんによく理解されていないのが現状です。

したがって、地域に向けて「情報発信」を行なう事業を実施することにしました。



完成間近の掲示板



掲示板除幕式



同窓会が生徒・OB激励用の「掲示板」を2基贈呈。

同窓会は去る11月1日(月)、高校の創立90周年を記念して掲示板2基を贈呈しました。

掲示板は、校庭のバス通りに面したところに設置され、鋼鉄製で強風対策や塩害対策をした基礎工事と塗装が施されており、通行中の車窓からも生徒やOBの活躍ぶりが一目でわかる、幅6メートル×縦1.8メートルの掲示板が2基並んだ物です。

学校で制作された掲示物が、手動ウインチ巻上げ下げされる物で、高さは6メートルになります。

総工費は、367万円で、卒業生の会社である(株)カスタムインダストリーに依頼し、完成しました。



寄贈された掲示板

因島商工会議所
尾道市因島土生町1809-20
TEL 0845-22-2211

明るい笑顔と楽しい生活
(株) 因島スーパー
代表取締役社長 石川 英二(S42年卒)
中庄店 TEL 24-3111 田熊店 TEL 22-8556

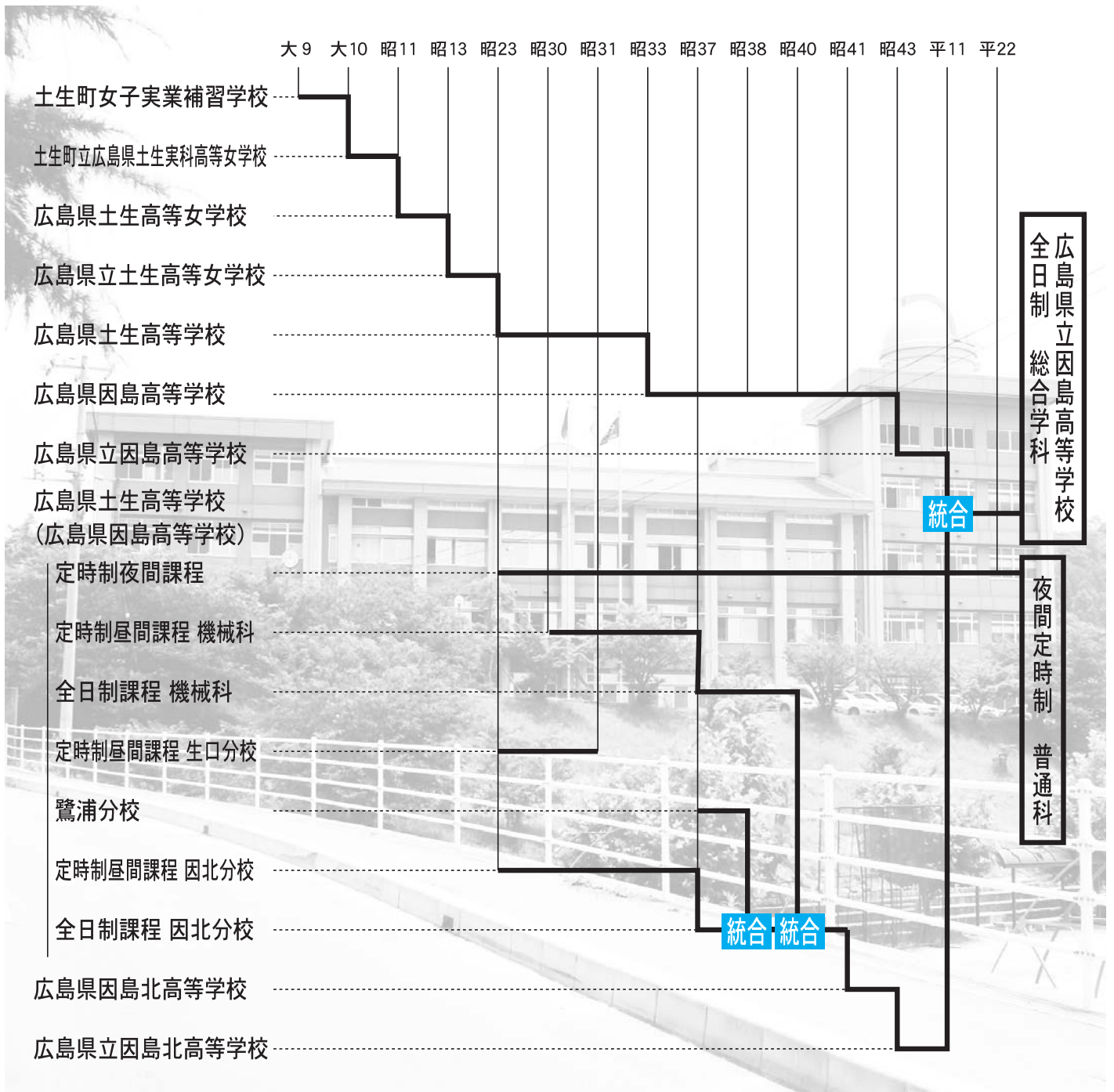
飲料のことならおまかせ
(有) 因島総合飲料
代表取締役 浜岡 利治(S34年卒)
尾道市因島重井町5800-671 TEL 0845-24-1181

青いそよ風がお迎えにあがります
因島タクシー(株)
代表取締役 藤井 康幸
広島県尾道市因島土生町2332-8
TEL 0845-22-2255 FAX 22-5993

(有) 因島中央青果 村上八重松商店
代表取締役 永宗 敏(S41年卒)
広島県尾道市因島田熊町1087-1
TEL 0845-22-2121 FAX 22-6716

因島鉄工業団地協同組合
理事長 柏原 公生(S38年卒)
広島県尾道市因島重井町474-1
TEL 0845-25-1151 FAX 25-1158

広島県立因島高等学校の変遷



因島鉄工株式会社
 代表取締役 宮地 秀樹(S47年卒)
 広島県尾道市因島重井町474
 TEL 0845-25-1175(代) FAX 25-1585

圓光産業株式会社
 代表取締役 圓光 幸治(S39年卒)
 広島県尾道市因島重井町474-25
 TEL 0845-25-1115 FAX 25-1181

園芸刃物製造
株式会社 岡 恒
 代表取締役 岡野 恒也(S59年卒)
 尾道市因島田熊町18-1 TEL0845-22-2546

岡野歯科クリニック
 岡野 主裕(S60年卒)
 尾道市因島土生町1899-8 TEL0845-22-8962

岡野登記測量事務所
 土地家屋調査士 岡野 隆一(S50年卒)
 尾道市因島土生町1762-16 TEL0845-22-5130

味が自慢のイギリス食パン
(有)岡野製パン所
 尾道市因島田熊町1067-4 TEL0845-22-0564

**因島高校創立90年の歴史を祝うとともに、
新しい伝統創造誓う。**

去る、11月20日、因島高校体育館に於いて、創立90周年記念式典が全日制生徒309人、定時制生徒34人の在校生、同窓生ら500人が出席して開催されました。



因島高校は、大正9年(1920年)土生町立女子実業補習学校として開校。昭和13年(1938年)土生高等女学校と

して県に移管。平成11年、因島高校と因島北高校が統合し、現在に至っています。

古川学校長から「21世紀を担うキラリと光る若者を育て、来るべき100周年に向けて進みたい」と、決意の挨拶をいただき、在校生代表の公文雅彦生徒会長からは「先輩たちの作り上げた歴史の上に新しい伝統を加えるために努力する」と誓いの言葉が述べられました。

式典終了後には、同窓生でもある中山隆弘広島工大教授(S38年卒)から「自然災害から生命を守る三つの“助”」と題する記念講演をいただきました。

午後からは、会場を芸予情報文化センターに移し、同窓会主催による「記念祝賀会」が行われました。



校訓「自重互敬」

自分を大切にすると同時に
自分の周りの人を尊重し敬う

「教育目標」

1. 自主・自立的に
行動する人間を育てる
2. 進取の精神に満ちた
人間を育てる
3. 自他を尊重する
人間を育てる



因島高校は
「自重互敬」の校訓の下に
3つの教育目標をおき
社会に貢献する人材を育成し
地域から信頼され
期待される学校に
なることをめざしています

（有）柏原工業
 代表取締役 柏原 信彦(S47年卒)
 尾道市因島重井町5800-100 産業開発団地内
 TEL 0845-24-0209 FAX 24-3281

各種二輪車・自転車販売・修理
 車のことならなんでも……
柏原モータース
 代表者 柏原 功(S53年卒)
 尾道市因島中庄町徳永 TEL/FAX0845-24-0046

純水～上・下水処理機械設計製造
 横浜ゴムMBC株特約店
株式会社 カustomインダストリー
 シニア・マネージャー 岡田 雅弘(S45年卒)
 広島県尾道市因島重井町2748番地
 TEL0845-26-1066 FAX26-1065

地域と共に未来に向かって!
 総合建設業
（株）加納屋建設
 代表取締役 村上 龍雄
 広島県尾道市因島重井町5800-46
 TEL 0845-26-2223 FAX26-2258

（有）加納屋建材店
 取締役 村上 英太郎(H2年卒)
 広島県尾道市因島熊町4864
 TEL 0845-22-2461 FAX22-8655

（有）河上電業
 代表取締役 河上 光男(S51年卒)
 広島県尾道市因島重井町84-1
 TEL 0845-25-1182 FAX 25-1183



●●● 二学期が始まりました ●●●

8月27日(金)因島市民会館で2学期の始業式がありました。始業式後、芸術鑑賞がありました。今年の演目は6人組のアカペラグループINSPiの公演でした。今年は「小規模県立高校間の連携推進事業」により、瀬戸田高校の全生徒も参加して合同の芸術鑑賞を実施しました。



上下ともINSPiの公演

●●● 水軍祭りに参加しました ●●●

8月28日(土)に、因島水軍まつり・火まつりが行われました。跳楽舞のコンテストでは、本校1年生15名が中心になった18人グループ「とらい・やるず+α」が居並ぶ強豪チームを押さえて優勝しました。

翌29日(日)に行われた小早レースでは、本校の女子チーム「嬢魂(おんなたましい)」が見事3位となりました。本校男子チーム「鬼龍(きりゅう)」も健闘し通算19位となりました。



●●● 球技大会 ●●●

9月3日(金)に延期になった球技大会を実施しました。生徒会新執行部にとって初仕事となり、猛暑の中無事終了しました。結果は次の通りです。

男子 優勝2年3組A	女子 優勝3年4組E
2位2年2組B	2位2年4組D
3位1年3組B	3位3年3組D

喫茶 モラル

森本 由紀(S36年卒)

尾道市因島土生町276-3
TEL 0845-22-0192

(有) クレセント

代表取締役 藤原 繁広(S47年卒)

興文館書店

楠見 芳教(S35年卒)

広島県尾道市因島土生町1899-70
TEL 0845-22-0251 FAX 22-3334

坂井文具店

坂井 邦明(S43年卒)

尾道市因島田熊町1113-1 TEL0845-22-0570

深く正確なアピール

相方印刷株式会社

専務取締役 相方 秀文(S44年卒)

広島県尾道市因島土生町2001-3
TEL 0845-22-0313 FAX 22-0307

有限会社 三協工業

尾道市因島土生町1899-8
TEL 0845-22-8962



上は男子、下は女子

県立大学の先生による模擬授業がありました

9月8日(水)の放課後に県立広島大学から2名の先生を招き、本校生徒が大学の講義を体験する「模擬講義」を実施しました。お二人の先生は生命環境学部准教授の佐藤之紀先生と保健福祉学部理学療法学科助教の長谷川正哉先生でした。本校生徒は貴重な体験をしました。



●●● 重井幼稚園来校 ●●●

9月16日(木)重井幼稚園の園児16名が「社会見学」のために本校に来校しました。

園児の皆さんは、本校のトレーニングルームやプラネタリウムを見学した後、本校生徒と一緒に弁当を食べました。

●●● 体育大会 ●●●

今年も好天に恵まれ10月2日(土)に体育大会が举行されました。今年は入場行進をブラスバンドの先導、また保護者による「綱引き」が新たに加わりました。生徒も奮起し1年生が総合優勝しました。



石黒君の選手宣誓



アルピニストの競技中

日本の銘酒/魚貝・産地直送

郷土料理 **三陸**

東京都渋谷区代々木1-39-11 TEL03-3320-8800

因島・重井・三和ドック

SANWA DOCK

Craftsmanship since 1961

〒722-2193 広島県尾道市因島重井町600
TEL 0845-26-1111 FAX 0845-26-1000
<http://www.sanwadock.co.jp>

サンライズ株式会社

代表取締役 桑原 純克(S37年卒)

広島県尾道市因島中庄町5018-1
TEL 0845-24-3280 FAX 24-3288

名物「島そだち」

松 愛 堂

因島本店 因島土生町長崎 TEL0845-22-1357
郵便局前店 因島土生町本局前 TEL0845-22-4893
因北店 因島中庄町パルティ店内 TEL0845-24-2085

新栄産業有限会社

代表取締役 中川 諭(S52年卒)

広島県尾道市因島重井町5012
TEL 0845-24-3773 FAX 24-3774

TKCコンピュータ会計

新川征彦税理士事務所

所長 新川 征彦(S38年卒)

尾道市因島土生町1671-16 TEL0845-22-3131

●●● 修学旅行 ●●●

2年生が10月16日(土)から19日(火)まで、3泊4日の日程で、研修・体験を目的とした北海道修学旅行に行き、全員無事帰校しました。

主な日程は次の通りです。

- 10月16日(土) 広島空港～新千歳空港～羊ヶ丘展望台
- 10月17日(日) 旭山動物園～富良野体験学習
- 10月18日(月) ラフティング体験～札幌市内散策
- 10月19日(火) 小樽市内自主研修～新千歳空港～広島空港



ラフティング



旭山動物園

●●● 課題研究発表会 ●●●

11月22日(月)3年生がシトラスⅡ(総合的な学習の時間)の授業で研究してきた成果を全校の前で発表しました。各分野の中で選抜された13のグループまたは個人が研究発表を行いました。

最後、広島県教育委員会指導二課の井上学指導主事からこの日の発表に対して感想や助言がありました。



研究発表



作品の一部

すし丸 因島店
 代表 榎原 勝文(S40年卒)
 尾道市因島中庄町3390-1 TEL0845-24-3934

スタンドライン
 正岡 ちづ子
 尾道市因島土生町2090-10
 TEL 0845-22-6026

住まいと不動産
(株) ステージ
 代表取締役 曾我部 正(S58年卒)
 相談役 佐々木園子(S61年卒)
 尾道市因島重井町4932-13 TEL0845-24-3840

アットホームで楽しいお店
スナック 夢模様
 尾道市因島土生町 TEL0845-22-3008

遠近両用眼鏡と補聴器
 いんのしまを、世界いち美しい島に。
精工堂
 メガネ・宝石・時計・補聴器 ☎22-1101
 尾道市因島土生町宇和部1454

瀬戸内検査工業(有)
 尾道市因島重井町5314-9
 TEL 0845-24-3308

●●● 1年生上級学校訪問 ●●●

11月8日(月)「産業社会と人間」の授業の一環として、1年生全員が広島大学・福山大学や職業能力開発短期大学(ポリテク)、尾道福祉、穴吹カレッジなどの専門学校を訪問しました。



穴吹カレッジ



福山大学

● クラブ体験オープンスクール ●

12月11日(土)地元を中心とする中学3年生を招いて、「クラブ体験オープンスクール」を実施しました。

●● 進路ガイダンス～2年生～ ●●

12月13日(月)午後、大学・専門学校等36法人の入試や広報の担当者を招いて、2年生対象の進路ガイダンスを実施しました。

体育館内に用意された大学や専門学校の各ブースには本校生徒が次から次へと詰めかけました。就職希望者には、NPO法人「尾道てごう座」の方から面接試験に対する講義・実技指導がありました。

●●● 冬の球技大会 ●●●

12月15日(水)恒例の冬の球技大会を開催しました。種目は男子はサッカー、女子はバスケットボールです。

結果は次の通りです。

- サッカー 1位 2-4、2位 1-1 B、3位 1-3
- バスケットボール 1位 3-3 B、2位 1-1 B、3位 1-3 A



サッカー

●● 読書感想文 県知事賞受賞 ●●

全国学校図書館協議会と毎日新聞社が主催する読書感想文全国コンクールの県審査が行われ、3年生の村上綾音さんが県知事賞に選ばれ、県代表として全国の審査に送られました。



(株) 竹中商会
 代表取締役 竹中 啓修(S31年卒)
 広島県尾道市因島中庄町4895-1
 TEL 0845-24-3188 FAX 24-3189

中国新聞因島南販売所
 岡村 俊典(S44年卒)
 広島県尾道市因島土生町1677-7
 TEL 0845-22-1916 FAX 22-6687

**東京海上日動火災保険(株)
 東京海上日動あんしん生命保険(株)
 代理店 有限会社ラブワン**
 代表取締役 河井 實(S38年卒)
 尾道市因島土生町2089-1 TEL0845-22-5821

アフラックのガン保険代理店
(有) 富喜商会
 代表取締役 村上 富男
 尾道市因島田熊町4970-12
 TEL 0845-22-3057

ゴルフ用品・各種ウエア・ユニホーム・ギフト
(有) ナイスウエア
 代表取締役 村上 公俊(S49年卒)
 尾道市因島重井町5119-3 TEL0845-24-3128

日昇無線株式会社
 代表取締役 四辻 修(S48年卒)
 広島県尾道市因島重井町474-15
 TEL 0845-25-1178 FAX 25-1639

●●「ことばの輝き」コンクール●●

平成22年度広島県高等学校「ことばの輝き」コンクールで、3年1組の箱崎茉望さん、平山理恵さん、藤原育子さんが取り組んだ「失語症友の会『あけぼの会』に関する研究」が優秀賞を受賞しました。

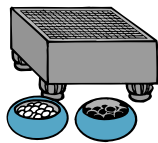
広島県高等学校小倉百人一首かるた大会

1年1組の藤井春菜さんが、第34回広島県高等学校総合文化祭第18回広島県高等学校小倉百人一首かるた大会の中級者の部で2位となりました。



●●● クラブ活動 ●●●

- 美術部 第45回因島美術展 岡野愛さん(1年) 尾道市長賞
- 吹奏楽部 第51回広島県吹奏楽コンクール 銅賞
- 体操部 濱田雄基君(1年) 国民体育大会 「ゆめ半島千葉国体」少年の部に出場 濱田雄基君(1年) 第30回広島県ジュニア体操競技選手権大会 個人総合優勝
- 囲碁将棋部 2年3組藤井香織さん、1年3組川野未来さんが第14回囲碁将棋中国大会(鳥取大会)へ広島県代表として出場しました。



平成22年度「同窓会総会」を開催。学校創立90周年に向けて準備を確認

毎年の8月15日の同窓会恒例行事となっています「平成22年度同窓会総会」が因島芸予文化センターにおいて開催されました。

総会は村井弘明副会長の司会で始まり、小江会長の「日頃の活動への協力に対する感謝の挨拶」の後、22年度の事業報告と一般収支報告、会報収支報告が報告どおり承認されました。

因島高校創立90周年記念行事として、式典と祝賀会を11月20日(土)に行なう。記念事業として、

- ①グラウンドに生徒激励用の掲示板を贈呈する。
- ②記念誌の発行を行なうことを決定しました。

総会后、元旭化成専務取締役の岡野徹(S33年卒)さんから、『宮地(信)先生の経済観を实践した半世紀』と題した記念講演をいただきました。

役員改選が行なわれ、事務局長に木村修二(S44年卒)が就任しました。

昭和63年卒の当番回生が準備した懇親会で懇親を深めました。

懇親会は、テーマの「ええじゃん!いんのしま」にふさわしく、恵谷千佳子さんのソプラノ独唱、因島獅子舞保存会の獅子舞、手作り打楽器の演奏に会場から盛んな拍手が送られていました。



講演中の岡野 徹さん



総会会場にて

元関西支部事務所

ハイツ たがしら

阪急京都線・淡路駅前

田頭 誠治郎(S28年卒)

尾道市因島中庄町天神722-2 TEL・FAX 0845-24-3093

文化ハウス

阪急千里山線・下新庄駅前

オフセット印刷とWebデザイン

有限会社 はと印刷

代表取締役 金山 中也(昭和54年卒)

http://www.hatoin.jp

尾道市因島重井町4080-3 兵庫県相生市栄町12番1号
Tel(0845) 26-1233 Tel(0791) 22-1111

因島・生名 - 三原間 高速艇+タクシー+セット券 **大好評!!**

土生商船株式会社

代表取締役 弓場 丞(S45年卒)

尾道市因島土生町1684-2 TEL0845-22-1337

HARISON CO.,LTD

(株)ハリソン産業因島

代表取締役 幡地 正義(S46年卒)

尾道市因島重井町5265 TEL0845-24-3050

保温・保冷・板金・築炉・耐火工事

株式会社 橋本組

尾道市因島重井町5072-8
TEL 0845-22-2066

支部便り

東京支部



東京支部長
岡野 徹 (S33年卒)

晩秋の創立90周年記念式典には、東京支部より私と榎副支部長、巻幡事務局長の3人で参列しました。式典の中で学校当局と同窓会本部関係

者のご努力により在校生が元気に勉学に励んでいる様子が見え、うかがえました。ぜひこれからもがんばってほしいものです。

旧因島高校跡に出来た新因島南中学も見してきました。この中学と因北、重井両校あわせ1学年170人から因島高1学年100人になるようで、彼らが誇りをもって進学してくる母校であってほしいと思います。そのためには中学生の意識啓発、能力アップも大事です。

私が長年勤務地としてきた宮崎県延岡市では近年、理数系離れが懸念されるための旭化成の技術系OBが「はげまし隊」と称して中学生の数学や理科の実験を先生のサブとして個人指導し絶大の評価を得ています。学校、同窓会、地域が協力した高校進学体制を因島でも日立造船のOBを中心に考えると良いのではと思っています。

さて、東京支部の今年のハイライトは1月30日に目白、椿山荘での支部総会です。着席で会費据え置きなので、「200人目標！」と学年幹事ががんばった結果、全国からの参加者や青山尾道市東京事務所長含め 260人という史上最高の参加者になりました。



パーティーは榎副支部長の司会で、支部会長、本部長、学校長の挨拶の後、議事を手短かに終えすぐ懇親会に入りました。大藪副支部長の乾杯の音頭のあと、しばし懇談、しばらくして「我因島」と題するDVDを上映、セピア色の校舎や因島の風景が郷愁をさそいました。次いで三庄出身のデュオ「ひまり」の若い歌声で盛り上がり、さらに村上洋造副支部長による抽選会でおおいにわき、日展審査員の金山桂子さんの絵画2点やまぼろしの焼酎「百年の孤独」など豪華景品があたるごとに歓声があがりました。3時間の予定はあっという間に終わりみんなで「高校3年生」を合唱し村田副支部長の一本締めと中空前支部長の中締めの挨拶でお開きとなりました。

古川校長先生からは「必ず帰ってこの熱気ある雰囲気を見たい」と語り、100周年といわず、永続する母校にします」と語っていただきました。



確かな技術力と高い信頼性のテクニカル企業
ビー・シー保全工業(株)
尾道市因島重井町5800-74
TEL 0845-24-0242

水中工事施工
株式会社 備後海事
代表取締役 鈴木 信也
広島県尾道市因島重井町5803-3
TEL 0845-24-1915 FAX 24-2232

フレッシュ・バリューをあなたとともに
福島工業株式会社
広島支店長 矢野 邦夫(S48年卒)
ISO 9001:2000 ISO 14001認証
広島市西区天満町19-7 クリエイトビル
TEL 082-231-1231

カーテン・室内装飾
寝具品・京呉服
有限会社 ふじい
尾道市因島土生町2257-1
TEL 0845-22-2227

藤原司法書士事務所
司法書士 藤原 浩二(S53年卒)
尾道市因島田熊町1932-1 TEL0845-22-1370

文具と事務機・OA機器・ギフト・日用雑貨
(有) 二神愛國堂
取締役社長 二神 悠祠(S59年卒)
広島県尾道市因島土生町1899-22
TEL 0845-22-1485 FAX 22-8014

関西支部

創立90周年と関西支部の歩み



関西支部長
金子征二郎 (S39年卒)

10数年ほど前から因島経済の落ち込みとともに、「荒れている」「レベルが落ちている」「勉強のできる子は尾道や福山へ行く」など、マイナスイメージばかりの因島高校。

これは大変と思っていると、PTAを始め同窓会、市民、市役所の「因島高校をなんとかしなければ」の思いから因島高校を良くする会が立ち上がり、努力が報われて「就職は100%、進学も国立難関大学に合格するようになった」と、学校関係者からうれしい報告を聞くようになりました。

半信半疑だったのですが、昨年11月20日の創立90周年式典に参列して、驚いたのは現役生徒の行儀の良さでした。何度も学校を訪れていた私ですが、雰囲気が違うことを肌で感じました。この状態が続けば、造船の島として栄えていたころの「素朴で、素直で、勉強もクラブ活動も活発、そして遊びにも一生懸命な生徒たち」が通っていた因島高校の復活は、近いと思いました。

さて、関西支部は昭和43年ごろから塩出次男先生たちの働きかけで、母校の創立50周年に合わせて設立の機運が高まり、46年7月4日に東洋ホテルで創立総会を開催しました。創立70周年記念誌に詳しく記載されていますが、設立総会までの苦労は大変だったと推測されます。世話役と各回生から代表者を選び準備委員会を何度も開いたことでしょう。なかでも28年卒の田頭誠治郎事務局長は名簿整理及び作成では、家族ぐるみで大変な苦労をされたようです。第2回総会は7年後の53年9月10日、第3回総会は5年後の58年9月4日いずれも東洋ホテルで開催。第4回は4年後の62年10月11日に庶民の町、十三にあるレジャービル「サンポード・シティ」で開催。その間、青年部の集いなどを催し、若い会員の開拓などにも努めましたが、40代以上の働き盛りの方たちが出席していて活気がありました。

第4回総会で田頭支部長からバトンタッチされた同級生の村上峰夫支部長は、次期総会開催を目指して、その間の会合での交流や名簿整理が主な活動であった同窓会のあり方を見直して、日常活動に力を注ぎました。ゴルフコンペ、ウォークラリー（ハイキング）、ひと月早い忘年会、ひと月遅い新年会などを毎年の恒例行事として実行していきました。

また、支部会則通りに3年ごとに定期総会を開くべきだとして、第5回総会を平成2年8月5日、都ホテル大阪で開催しました。日常生活の中では縁遠い一流ホテルでの総会で、晴れがましい気分を味わってほしいことと、一人で参加しても寂しい思いをしないように桂三枝、文珍らの師匠である桂小文枝(当時)を招き講演してもらいました。そのうえ、故郷因島を思い起こしてもらいたいと「村上水軍陣太鼓」のメンバーを招待し、勇壮な太鼓をホテル中に響かせ、300人を超す参加者の感激は最高でした。

また、新しい試みとして「ハイキングと飯ごう炊さんと運動会」「信楽陶芸村バスツアー」「テニス同好会結成」などを行いました。

第6回総会は5年8月1日、同じく都ホテル大阪で開催。アトラクションとして母校の吹奏楽部50人を招待し少年時代、高校三年生など懐かしい曲を演奏するや、おひねりが飛び交い、退場する生徒の列に御祝儀を渡す人が続出したのにはびっくり。

実は事務局（金子事務局長）の手違いで、練習会場を確保できなかったため舞台上で練習することになり、控えの間にいた出席者が次々と会場に入り、練習風景を熱心に見詰め、若かりし頃の思い出が増幅されて狂喜したのが真相でした。



第1回ウォークラリー（ハイキング）
105名が参加した昭和63年9月11日のスナップ。
ジャンケンゲームに興じる(阪急中山駅→清荒川のコース)

アイデア豊かな村上峰夫さんからバトンタッチされた山口宗之(S30年卒)のさんも2期支部長を務め、第7回総会を8年8月4日に南海サウスタワーホテル大阪で開催

塗装工事(船舶・建築・機械)全般/足場工事一式

有限会社 平成塗装

代表取締役 野田山 強(S44年卒)

広島県尾道市因島重井町4855-1
TEL 0845-24-3026 FAX 22-6101

婦人服

splendeur HONGO
ホンゴ

尾道市因島田熊町 TEL0845-22-0535

本四バス開発(株)

代表取締役 深山 哲男

広島県尾道市東御所町11-15
TEL 0848-25-5571 FAX 25-5574

配管・建築業

(有)マサキ工業

代表取締役 金山 政輝(S41年卒)

尾道市因島三庄町4区 TEL0845-22-8780

有限会社 マツ建工

代表取締役 松下 隆盛(S38年卒)

尾道市因島重井町992-1 TEL0845-25-1757

松村金属有限会社

代表取締役 松村 和弘(S52年卒)

広島県尾道市因島田熊町5049番地
TEL 0845-22-2294 FAX 22-7022



第11回総会 平成20年6月15日、ホテル日航大阪、関西支部合唱団の歓迎の歌声です。

催しました。この間、小林弘(S30年卒)さんが、同じくレクリエーション部長として大活躍でした。

特筆すべきことは、因島本部、広島支部、関西支部の合同行事として「おかやまファーマーズマーケット」に153名が集い、バーベキューやゲームなどで交流を楽しんだことです。

11年7月25日に帝国ホテル大阪で行われた第8回総会からは、私が支部長の重責を担うことになりました。忘年会、新年会には奈良・桜井市の多武峰観光ホテル、大阪の太閤園、京都の魚三樓、神戸の蘇州園など珍しいところを探して参加者に喜んでいただきました。

旧因島北高同窓会との統合は、村上忠弘(S36年卒)副支部長たちの協力のお陰でスムーズに運び、370人も出席して第9回総会を三井アーバンホテル大阪ベイタワーで開催することが出来ました。第10回総会はホテルニューオータニ大阪、第11回総会はホテル日航大阪と因島から多くの同窓生も出席していただいて盛大に行いました。

今年6月12日に行う第12回総会は、ホテルオークラ神戸です。風光明媚な神戸港で威容を誇っています。今まで大阪の一流ホテルばかり利用してきましたが、神戸のスマートなサービスに接して下さい。阪神大震災から16年、復興なった神戸の町も見て下さい。

事務局12年、支部長12年合計24年間お世話させていただきました。同窓生の皆さまのご協力のお陰と感謝しています。また、先輩役員には物心両面で、何かとお世話になりました。特に12年間事務局長として関西支部を支えて下さった村上福造(S33年卒)さんを始め現役員の皆さまにお礼申し上げます。

最後の大事な仕事である第12回総会には皆さまのご出席をお待ちしています。



広島支部

因島高校創立90周年によせて

広島支部長
小林 章三 (S40年卒)



新年明けまして おめでとうございます。

卯年、元気よく跳ねてますか？

ほぼ1世紀近く前、当然我々団塊の世代が生まれるずっと以前に創立

・開校した訳で 改めて伝統校なんだと実感しています。昨年その式典祝賀会に出席し、実行委員、学校関係者、在校生の方々には大変お世話になりました。また記念講演をしていただいた中山教授には感謝申し上げます。

考えてみると大正9(1920)年創立ですから 世の中混乱の時代で確か国際連盟成立の年で9年後には世界大恐慌、やがて第二次世界大戦、太平洋戦争に突入しそして戦後の復興から現在に至る国内外の動乱期に学校は脈々と発展・進化してきたものと思います。

平成11年には「新生因島高等学校」として合併し校舎も重井の地に移転新築され我々の時代とは比べものにならない立派な設備で、羨ましくも思います。

第12回 関西支部総会

- 日 時 平成23年6月12日(日)
午前11時～午後2時
- 会 場 ホテルオークラ神戸(TEL078-333-0111)
- 交 通 ・山陽新幹線「新神戸」駅より車で12分
・JR・阪神「元町」駅より徒歩10分
・JR「三ノ宮」駅、阪急・阪神「三宮」駅より車で7分

詳細はネット「ホテルオークラ神戸」で検索して下さい
 問い合わせは
 事務局長の 村上 福造(TEL06-6951-6564)まで

土地と家のご用命は

株式会社 マル井商事

代表取締役 今井 克哉
取 締 役 今井 時彦(S33年卒)
広島市安佐北区可部4-21-8-101
TEL 082-814-9034(宅地建物取引業)

株式会社 丸扇技行

取締役 岡野 敬一(S45年卒)
広島県尾道市因島中庄町3880-1
TEL 0845-26-2256 FAX 26-2245

万田発酵株式会社

代表取締役会長 松浦新吾郎(S38年卒)
代表取締役社長 松浦 良紀(H元年卒)
因島重井町5800-95 TEL0845-24-3555FAX26-2034
ホームページアドレス http://www.manda.co.jp/

レストラン・喫茶・仕出し・宴会

み つ ば ち

小林 晃和(H7年卒)
広島県尾道市因島重井町2234の3
TEL 0845-25-1388 FAX 25-1250

機械加工および組み立て

株式会社 宮地精機

代表取締役社長 岡野 直樹(S38年卒)
ISO 9001認証
広島市西区商工センター8-9-50
TEL 082-277-8882

真心のこもったサービス

ホテル みやじま

Hitz総合サービス株式会社
(因島)土生町2562-1 TEL(0845)22-1450(代)

少子化の問題もありますがこれまでも立派な先輩・後輩を輩出してきたわが母校に対し今後共益々発展し永遠たれと祈ります。

広島支部としても我々OBが母校、在校生に対して何ができるかを自ら問いながら暖かいエールを送り続けたいと思います。

支部の活動状況

広島支部長 小林 章三 (S40年卒)
同事務局長 松浦 利幸 (S47年卒)

一昨年の総会で前村上支部長からバトンを受け、早一年が過ぎました。

同窓会の絆は縦糸、横糸は日ごろからのFACE TO

FACEつまり顔の見える仲間。よく同窓会とクラス会はどう違う？と聞きます。まさにある程度面識があればお互い無理も言える。そんな理念(?)のもとで当支部は同好会・サークルに重点を置き現在軌道に乗った囲碁同好会、パソコン教室その後の食事会～カラオケ同好会実践と月一の同好の集い(どの部門に参加は自由)が定着しつつあります。今年は加えてダンス同好会(ワルツ、タンゴ除くフォークダンス含むステップの習得)、旅行愛好会、セミナーに注力してまいります。講師はいずれも内輪の同窓生。安上がりの手作りサークルです。どうぞ皆様も参加してみませんか？

写真は10月30日(土)の秋のゴルフコンペ。

90周年式典に支部から寄贈した造花、製作者は村上千栄子さん(S38年卒)とその1コマ。



2月6日(日)支部新年会を開催しました。

セミナー 「歯と身体の健康」

講師 歯学博士 勝島歯科医院
院長 勝島健太郎氏 (S40年卒)

2010年度同窓会を終えて



2010年度因島高校同窓会実行委員会
実行委員長 湊 真一郎

2010年度同窓会総会開催にあたり、同窓会役員の皆様をはじめ、現因島高校の先生方のご協力を賜りましたことを、心より感謝申し上げます。

また、運営に携わった同期の皆様本当にありがとうございました。



当番回生による受付準備



会場設営



オープニングアトラクション



懇親会

写経会と水子供養

妙見山 明德寺

尾道市因島三庄町1945
TEL 0845-22-0933

心のかようファッション広場

ムラカミ

株式会社 ムラカミ
代表取締役 村上 稔(S30年卒)
尾道市因島土生町1899-97 TEL0845-22-2383

出光興産販売店

村井石油株式会社

本店 因島土生町2257-1 TEL0845-22-0742
因島S S 因島土生町18-1 TEL0845-22-0041
中庄S S 因島中庄町646-8 TEL0845-24-0162

村上司法事務所

司法書士・土地家屋調査士 村上 正則(S51年卒)
行政書士 村上 恭子(S51年卒)
尾道市因島土生町1762-28 TEL0845-22-5634

(有)村上造船所

代表取締役 村上 善彦(S53年卒)
尾道市因島土生町1894-3 TEL0845-22-0317

村上溶材株式会社

代表取締役 村上 威(S43年卒)
広島県尾道市因島重井町5657
TEL 0845-24-2222 FAX 24-2884



「いのしまロッジ」改修工事を行い、『ホテルいのしま』に改名して営業。

1971年に因島公園内に開設され、老朽化が進んでいた「いのしまロッジ」の全面改修の工事が終了し、3月からの本格営業に備えています。

地下一階に新設した男女大浴場は、眼下にしまなみ街道の多島美や県境の島々が一望できますし、内装一新してオープンとなります。総工費は、約1億4180万円です。

いのしまロッジは、1971年因島市が開設した国民宿舎。1989年には経営権が因島観光開発に譲渡され、公設民営となり、その後、合併により尾道市の所有となっていました。

尾道市は、行財政改革の一環として、今年6月の定例議会で所有権の譲渡と全面改修総工費の半分を負担することを提案し、議決されました。

いのしまロッジは、完全に民営国民宿舎に移行し、工事も因島観光開発が行っています。



待望の新橋 因島の南隣
愛媛・上島の生名橋2月6日に開通。

因島の南に浮かぶ愛媛県上島町の生名島と佐島を結ぶ生名橋(515メートル)が2月6日(日)に開通しました。

生名橋は、鋼・コンクリート混合斜張橋。



弓削島・佐島・生名島・岩城島の4島を3橋で結ぶ愛媛県の上島架橋整備事業の一環で、2007年7月に着工した。1996年開通の弓削大橋に続く2つ目の橋で、事業費は約77億円でした。



上島町では、弓削島に離島体験滞在交流施設を約10億円かけて建設中で、5月中旬にオープン予定です。

橋でつながる弓削・佐島・生名の3島を自転車で走るサイクリストのニーズに応えるため、新年度からレンタサイクルを増やす計画もあるなど、因島から上島町役場のある弓削島へは、最短の生名島にフェリーで渡れば、安価で橋伝いに行け、車と人の流れは大きく変わりそうです。



事務局だより

事務局長 木村修二 (S44年卒)

90周年という節目の年に事務局長という大役をいただき、役員の方々に助けられながら修業しています。

今、抱えている問題は、常任委員会を含め各委員会の見直し・会費の問題等課題はたくさんありますが、母校のため、仲間のためと思いながら、これからは、仲間が集まりやすい同窓会造りだと位置付け、同窓生の顔を思い浮かべながら、同窓会の活動のお手伝いをするつもりです。

自分にいつも言い聞かせている言葉「知恵と汗の出し惜しみをするな」を胸に頑張りたいと思っています。

有限会社 メイセイ

取締役社長 西岡 健二
広島県尾道市因島重井町5800-126
TEL 0845-24-2648 FAX 24-2649

浄化槽管理・清掃・修理
浄化槽保守点検登録業者・広島県4第0817号

モリワキ工業
〒722-2323 尾道市因島土生町1784-8
TEL 0845-22-9176
FAX 0845-22-9177
水を守る

不動産業

山幸不動産

代表者 岡野 敏郎(S56年卒)
尾道市因島田熊町港区 TEL0845-22-9596

全国に花が贈れます



やなぎや

巻幡 臣持(H7年卒)
本店 TEL 22-8783 因島病院前
支店 TEL 22-8855 郵便局前



有限会社

ラコッコット

〒722-2322 広島県尾道市因島三庄町387-2
TEL 0845-26-2201

有限会社エコネット太基



村上 敦宣(S61年卒)

広島県尾道市高須町5421
TEL/FAX (0848)294572



なりたい自分に向かって力をつける いつも主役はあなたです

— 4つの系列群をおく教育課程 —

因島高校は、少人数でわかりやすい授業を基本にしています。
2年次からは多彩な科目を自分で選択できます。

4つの系列群を設置して、総合学科の特色を活かした授業を展開しています。

人文社会系列

国語・英語・地理歴史・公民関係の科目を中心に学びます。文系（文・外国語・経済・経営・商・法学関係）の大学・短大・専門学校への進学や、公務員・企業への就職をめざします。

生活科学系列

介護関係の科目を中心に学ぶ福祉コースと、食物・被服・保育などの科目を中心に学習する生活科学コースに分かれます。福祉や家政関係の大学・短大・専門学校への進学や就職をめざします。

自然科学系列

数学や理科の科目を中心に学びます。理系（理・工・農・医・薬学関係）の大学・短大のほかに、看護・医療系の専門学校や就職をめざします。

工業テクノロジー系列

工業関係の基礎科目や現場作業に必要な技能の習得をめざします。各種の資格取得や、検定を受検するなどして、企業への就職をめざします。工業関係の大学や専門学校への進学もできます。

過去5年間の主な進路状況

■国立大学 大阪大学・広島大学・岡山大学・和歌山大学・山口大学・鳥取大学・島根大学・高知大学・徳島大学・愛媛大学・大分大学・長崎大学 ■公立大学 県立広島大学・兵庫県立大学・広島市立大学・下関市立大学・高知女子大学・尾道大学 ■私立大学 帝京大学・順天堂大学・関東学院大学・近畿大学・関西大学・同志社大学・立命館大学・京都産業大学・関西学院大学・関西外語大学・追手門学院大学・東大阪大学・神戸学院大学・摂南大学・桃山学院大学・岡山理科大学・川崎医療福祉大学・広島工業大学・広島修道大学・広島女学院大学・福山大学 ■短期大学 島根県立大学短期大学部・倉敷市立短期大学・福山市立女子短期大学・華頂短期大学・北翔大学短期大学部・京都嵯峨美術短期大学・大阪芸術大学短期大学部・岡山短期大学・広島短期大学・川崎医療技術短期大学・中国短期大学・山陽序女子短期大学・比治山大学短期大学部・福山職業能力開発短期大学 ■専門学校 倉敷中央看護専門学校・広島県厚生連尾道看護専門学校・尾道市医師会看護専門学校・福山歯科衛生士専門学校・岡山医療センター付属岡山看護専門学校・尾道准看護学院・広島外語専門学校・穴吹調理師専門学校・穴吹医療福祉専門学校・広島県東部理容専門学校・尾道YMCA福祉専門学校・専門学校EPSエンタテイメント・穴吹情報デザイン専門学校・トヨタ神戸自動車整備専門学校・マインドビューティーカレッジ ■就職 マツダ・自衛隊・三菱重工ほか大手企業など



母校が創立90周年を迎えた。学校の変遷は、因島の産業の繁栄と歴史そのものだ。

因島は古くから、海運業とともに発展してきた。キャッチフレーズを「造船とみかんの島」から「花とフルーツ」に変えてずいぶん経つが、尾道市で造船業に携わっている人の人口比率は『日本一』らしい。

「造船」の商いは2～3年先が見通せるから何かと便利かもしれないが、日本の建造量は韓国、中国に続き3位になった。海運界の低迷から新造船の発注量も減少しており安値競争になっているらしい。

しかし、造船は装置産業ではないだけに優秀な人材の確保が必要だ。

母校は就学環境も整い、在校生が活躍した横断幕が次々と掲げられ、着々と成長し続けている。在校生は年々減少しているが、将来を見たとき、地域の発展のためには地域で根を張る母校生徒のスケールアップは欠かせない。

この「因島高校の名」で100周年を迎えたい。地域の学校として、地域に支えられ、大きく育って貰いたい。願うばかりだ。

